

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

F. その他

②国際シンポジウム等の開催

●明治大学理工学研究科基礎理工学専攻

「社会に数理科学を発信する次世代型人材創発」の事例

(具体的に何を実施したのか)

マネジメント能力・コミュニケーション能力の養成のため、「学生の・学生による・学生のための」国際シンポジウム(Japan-Vietnam joint セミナー)を企画・開催し、それをサポートした。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

学生達に、自分たちのシンポジウムであるということを意識させるところが難しいところであった。Vietnam 側にも、シンポジウムの世話をする学生を出してもらって、両国の学生同士でメールによって連絡を取り合い、シンポジウムの準備を進めさせた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

学生たちをシンポジウムに連れて行っても、積極的に外部の人たちと交流せず、自分ら仲間内で話していることが多い。しかし、この Japan-Vietnam joint セミナーでは、Vietnam 側の世話人の学生達と積極的に交流しており、学生達にとっては研究・コミュニケーションの両面で非常に良い体験であったと思う。